



15年振り？の3級クラスの沢でいきなりリードはご勘弁を！

越後 釜川右俣ヤド沢

石井

もともとは平ヶ岳のワカゴイ沢を3名で遡行する予定であったが、飯田さんが体調不良で急遽キャンセルとなり、転進先として選んだのがヤド沢。20年前に右俣を利香さん、肥後さんと遡行済みではあったが、長いブランクを経ての久々の3級クラスの沢であり、古い手嶋さん他の記録を見ても一筋縄ではいかなそうだが、エスケープしやすい安心感があるので、少々緊張しながら現地へ向かう。

7/23 晴れ

前泊は七ツ釜キャンプ場にて車中泊、大場の集落を通り抜けて釜川の林道ゲートまで向かう。かつては釜川までほぼ林道を辿った記憶があったが、だいぶ草木が生い茂り、迷うことはないが踏跡レベルのアプローチとなっていた。取水口から遡行開始、最初は巨岩帯が続くが、栗原さんも自分も大汗をかいてなかなかペースが上がらない。一か所淵をあっさり巻き、屈曲を経ながら再び巨岩帯を進んでいくと左俣との二俣だ。

右俣に入ると一転してゴルジュとなるものの、残置スリングや踏跡やら人臭い痕跡は多いので、ワンポイントの泳ぎを交えながら主には左から、楽しく越えていく。幸い天候も安定している状況で、標高の割には水も冷たくはなく、至極快適だ。瀑流帯を過ぎて釜小滝を越えていくと、視界は急に開けて三ツ釜に至る。二度目でもつい歓声を上げてしまうほど、左岸を巻いて登るほどにナメ滝の釜の造形美に感心してしまう。

三ツ釜上部で自然とヤド沢へと入ると、地形図上でも判る通り、滝、滝、滝の連続となる。快適に登れる優美なナメ滝を交えつつ、多段20m滝、美瀑15m滝はもし登れたとしても厄介そうなので、右のブッシュ帯から巻いていく。ただ、ぐるりと壁に囲まれた40m滝だけは少々厄介。一見すると絶望的だが、よく見ると左側の凹角を交えたラインならヌメリが少々嫌らそうだが、何とかなりそう。ここで思いがけずロープを譲られる。15年程度それなりの沢から離れている奴。にいきなりリードさせるの栗原さん！と思いつつ、気休めのハーケンを打ちながら登っていく。上部の細かさや荷揚げに手を焼きつつ、1時間少々要して滝上に至る。

続く5段滝は一部を巻きながらもおおむね水流脇を登り、60mの大滝は一部垂直木登りで右から巻いていく。多段30m滝を越えると溪相は一変して穏かなブナ森となり、一気に幕場探しモードに切り替えとなる。案の定、ほどなく釣り師が常用すると思われる快適なテン場を右岸に発見し、本日の行動はこれにて終了。あとは山の幸を頂きつつ、ブナ森の夜を快適に過ごす。薪が湿っていて炎が物足りなかったのが少々残念ではあった。

7/24 晴れ

今日は林道に出て帰るだけなので、朝はのんびりと過ごすことができた。同じ沢とは思えないほど、標高も稼がず穏かなナメと小滝が続く、支流を分けつつボサが出てくると、ほどなく林道に出た。この地点に日帰りの行程で昼前に到達した10数年前の栗原さんと大田原さんのペアはどれだけ強いんじゃない！と思いつつ、15年ぶりくらいで迎えた今回の山行を、まあ無事にこなせたのは良かったと感じた。

車をデポしたゲートまでは一時間少々の林道下りであったが、工事中でところどころ舗装が進んでいたのはビックリ。山城へのアプローチは少々遠いものの、なかなか快適かつ面白い沢であることを再認識できました。

DATA



山行日 2023年7月23日(日)～24日(月)

行程 7/23 釜川林道ゲート(6:45)～左俣出合(7:55-8:15)～ヤド沢出合(10:20-35)～1250m付近C1(14:00)

7/24 C1(7:45)～林道(8:35-45)～林道ゲート(9:55)

グレード 3級上

地形図 赤沢、苗場山

メンバー L 石井、栗原



夏向きの沢！



突っ張りで楽しく突破



5段15m滝をうかがう



圧巻の60m大滝



釜川右俣ヤト沢

2023.7.23-24

T. ISHII